

## 農業後継者育成基金事業

### 平成29年度農業後継者特別支援事業

事業主体名 いちき串木野市担い手育成総合支援協議会

#### 1 目的

いちき串木野市では新規就農予定者を雇用し実践的に技術や経営を伝え、それにより確実に新規就農者として育てている法人がある。その事例を市全体の取組としてシステム化する。新規就農者も近年2～3名で推移しており積極的な確保、育成対策は取っていない。今回、この事業により、新規就農者の確保・育成について検討し、継続的な担い手確保を行えるしくみをつくる。

#### 2 実施状況

##### (1) 新規就農者の確保について

現地視察検討会を実施し、本市の認定農業者、中山間地域の農家に後継者確保状況についてのアンケートを行った結果、後継者不足、雇用・労働力の確保や資金ぐりが困難であることがわかった。

新規就農者育成優良農家の視察研修で受入れ農家、研修生の多様な意見をいただくことができた。

地域の担い手を確保を図るため、農業人材の育成を目的として農業法人を立ち上げやベテラン農家が新規就農者の受入れを行うシステムを提案した

農業後継者特別検討部会や関係機関等と連携して、パンフレット「いちき串木野市新規就農者ガイド」を作成した。

##### 3 今後の課題、取り組み

研修制度の確立及び説明会、研修生受入れ農家の募集、関係機関と連携した新規就農者の確保、農地の維持に努めたい。

農業高校・農業大学校と連携し、就農率の向上を図りたい。

